

Vol.148

院長 関の

Face to Face

2020年10月1日発行

こうびろう

# 後鼻漏の改善にエアナジーと鍼灸

人は1日に約2〜3リットルの鼻汁を排出しているそうです。え？そんなに沢山の鼻水は出ていない？そうなんです。ほとんどの鼻汁は前に出ず、後ろに流れて唾液などと共に知らぬ間に胃に吸収されています。ところがこの鼻汁が花粉症などのアレルギーや風邪などのウイルス、慢性副鼻腔炎などで粘性を帯びたり、鼻汁の量が多くなると、喉

に炎症がおきたり、からまつたりして咳や痰や痛みの原因となります。このため夜間に眠ることもできなくなり、鼻が悪いので口呼吸となります。これを後鼻漏（こうびろう）というのです。医師の処方としては、抗アレルギー剤や抗生物質、鎮痛剤や去痰剤などが一般的ですが、あくまでも対処療法になるため、季節の変わり目や免疫低下時にいつも繰



り返すことになります。当院でも同症状の方が多く来院されますが、最も効果が見られるのがエアナジー（活性炭除去装置）と鍼灸治療の組み合わせです。鼻汁の改善は「肺」から治療していくという考えです。エアナジーは活性炭素に直接働きかける酸化機能成分を「肺」に取り込ませ、肺の機能を高めめます。鍼灸治療は冷えた「肺」を温めます。このことで過剰に増える鼻汁を正常な量と質に戻すことができます。この治療を続けることで、毎年繰り返していた不快な後鼻漏から脱却できたと喜ぶ方が多くいらっしゃいます。是非お試しください。◇

関 修一（せきしゅういち）

健育会 東銀座整骨院・整体院・

鍼灸院 院長

代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルの「Face to Face」は「患者さん自身と向き合っている患者さんの症状と闘う」ことを願ってつけた